

平成28年度 燕市西蒲原郡理科部会 活動報告

部長 島田 聖一

1 研究主題

科学的な思考力・表現力を育む授業づくりの工夫

2 研究の概要

(1) 第1回 部会〈期日：4月20日(水) 会場：弥彦小学校〉

【研究主題の決定、活動計画の立案】

(2) 第2回 部会〈期日：6月1日(水) 会場：燕市教育センター校〉

【実技研修会】

①内容 テーマ 「科学的な思考力・表現力を育むための観察・実験の実技研修」
講師 燕・弥彦科学教育センター専任所員 浅倉 健輔 様

②概要

「小学校3年生から6年生までのつながりを意識した指導を通して」をサブテーマとして、粒子の保存性に関する単元の観察・実験の実技研修を行った。3学年「物の重さ」と5学年「物の溶け方」、さらに中学校1年「身の回りの物質～水溶液～」で行う観察・実験を実際に行いながら、児童の誤概念を修正させていくポイントを確認した。この研修を通して、系統性を意識して指導にあたる大切さを学んだ。



(3) 第3回 部会〈期日：11月30日(水) 会場：燕西小学校校〉

【授業研究】

①内容 3学年「ゴムのはたらき」

授業者 燕市立燕西小学校

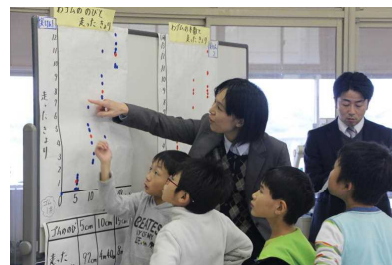
北村 栄子 教諭

指導者 燕市教育委員会統括指導主事

齋藤 暁史 様

②概要

ゴムののびや本数と走る距離の関係を考え、ゴムで動く車がゴールに止まるようにコントロールして走らせることをねらいとした授業であった。前時の結果を表やグラフにして提示したことが有効に働き、児童は表やグラフをもとにたいへん意欲的に予想を立て、実験によって確かめる活動を行っていた。予想の根拠を明らかにさせるための手だての大切さを学んだ。



齋藤指導主事からは、理科部の研究主題「科学的な思考力・表現力を育む…」に即した視点から、「目指すべき児童の姿を促す教師の働き掛け」、「見通しをもたせるための手だて」、「思考を認知させるための手だて」などのご指導をいただいた。